

は やま

羽山

校訓：敬愛・探究・勤労

教育目標：豊かな情操をもち、自立的に生きる生徒の育成

文責：柴田町立船迫中学校長 曾根 秀輝

中総体、ちょっといい話！～顧問の先生方から～

中総体が終わりました。保護者の皆様には、送迎や応援等で多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、子どもたちは、どの種目においても、力を出し尽くし、悔いの無い戦いをしたようです。これも保護者の皆様のご協力のおかげと改めて感謝しております。

さて、学校・学年・学級だより等では、試合の結果をお知らせしますが、この校長だよりでは、その試合の内容について、少しでも子どもたちや保護者の皆様にお伝えしたいと考えました。そこで、各顧問の先生方から、中総体での感動エピソードを書いてもらいましたので、ご紹介します。

サッカー部

準決勝の大河原中戦。負けはしましたが、ディフェンスラインの構築、粘り強く守る姿、最後まで点を取りに行く姿に感動しました。その結果、このチームの最後の得点は、この1年間、チームで取り組んだ全てが詰まった1点と感じており、どんな1点よりも大きいものです。これまで一緒に戦ってくれてありがとう！最高の試合でした！

古内利明先生・鈴木信人先生

ソフトボール部

部長が郡中体連の大会全てを「優勝」で飾ることができ、とりあえずホッとしています。この偉業を達成できたのも、ソフト部全員があきらめず最後まで戦ったからだと思っています。Nice Fight!!

我妻靖治先生・島田 拓教頭先生

バレーボール部

「1・2・3！」相手選手のサーブがこちらのコートに入ってくるタイミングに合わせて、コートの内外にいる選手たちからの大きな声が会場に響き渡りました。ナイスレシーブから、セッターの美しいトスが上がり、エースアタッカーのスパイクが炸裂！プレー中の6人だけでなく、メンバー12人の心がひとつになった瞬間です。二十四の瞳がキラキラと輝いていました。

小関康司先生・校長先生

野球部

みんなと共に活動するようになってから、ずっと話してきた「みんなで声をかけ合って」「ベンチから盛り上げる」が形になった試合でした。何度もやってくるピンチを、全員野球で乗り切る姿、3年生のガッツポーズ（特に大槻君）に、心から感動しました。本当にありがとう。勝たせることができず、ごめんなさい。

油谷 洋先生・菊池悠里先生

バドミントン部

私たちのチームは、どの練習試合や大会においても、チーム全体で大きな声を出して練習に取り組みます。中総体も、いつもと変わらず、部長の夢叶さんを中心に、公式練習から声をかけ合い取り組みました。その効果は大きく、緊張する団体戦も、会場を迫中の色に染めて戦うことができました。また、試合中の声かけも素晴らしく、特に副部長の万由子さんは、怪我のため選手としてコートには立てませんが、「○○（選手名）なら必ずできるよ。大丈夫だよ！」「みんながついているよ！」といった思いの込められた声援を送っていました。隣で聞いていても胸が熱くなりました。コートに立つ選手には、本当に大きな力になったと思います。

黒須 拓先生

バスケットボール部

今大会は1回戦でシード校の大河原中学校と対戦。部員一人一人が気持ちを高め、試合に集中していました。ジャンプボールのボールを先にとったのは迫中。リングに向かって速攻。攻守の攻め合いをしながら、第1クォータ5点差のビハインド。第2クォータに向けて部員の心は一つになった。

相馬大治先生

ソフトテニス部

中総体1日目の反省を生かし、2日目の団体戦に臨みました。試合が終わるごとに選手たちは声を掛け合い、どうしたらもっと良くなるか、どうしたら勝てるのかを真剣に話し合いました。一戦一戦、熱の冷めない粘り強い戦いを見せてくれた3年生に、心を打たれるばかりでした。いよいよ迎えた県大会出場をかけた戦い。選手だけでなく、全員が一つになり、3年生は大きな声援を背に戦い抜きました。そして、見事、県大会出場を勝ち取りました。あの時の一体感は、皆にとって一生の思い出になることでしょう。

中山美紗子先生・岩國柚美子先生

卓球部

2日目の個人戦。常にチームのことを考え、部長として自分のことよりもチームのことを優先して取り組んできた山内君の試合。応援の生徒全員で大きな声で応援する姿に感動しました。卓球は個人種目ですが、部活動は団体戦なんだと改めて感じさせられました。

脇坂浩明先生・鎌田百合子先生

剣道部

「チームで闘う」 剣道部が大切にしてきたテーマです。今回の中総体では、みんなの思いが一つになって、「チームで闘う」場面が随所に見られました。その中でも、印象的だったのは、個人戦の決勝の場面です。3分で決着がつかず、延長戦で「胴」が決まった瞬間、部員全員が飛び上がって歓喜し、中には感激のあまり涙する生徒もいました。生徒も保護者も顧問も同じ思いで、心を一つにして闘っているなど改めて感じた瞬間でした。県大会も迫中剣道部として一丸となり、「チーム迫中」として頑張ってきます！

矢吹 馨先生・大浪千穂先生